



2025年6月2日

非常ブレーキによってお客様からけがの申告を受けた事象について

5月30日（金）新千歳空港駅構内において、運転士がATS（※）の取扱いに適切を欠いたため非常ブレーキが動作し停止する事象が発生しました。事象が発生した翌日と翌々日に、乗車されていたお客様からけがの申告を受けました。

けがをされたお客様にお見舞いを申し上げますとともに、ご利用のお客様には、ご不安な思いをおかけしましたことをお詫び申し上げます。

1. 発生日時 2025年5月30日（金）15時57分頃
2. 発生場所 千歳線 新千歳空港駅構内（千歳市美々1292番地33）
3. 関係列車 札幌 15時18分発 新千歳空港行き 快速エアポート126号
（6両編成 定員792名、乗車約220名）
4. 概 況 運転士は、新千歳空港駅に定時到着予定で進入していたところ、この先が行き止まりであることを注意喚起するためのATSの取扱いに適切を欠いたため、非常ブレーキが動作する事象が発生しました。
その後5月31日に、ご乗車されていた1名のお客様からけがの申告があり、6月1日にも同様の申告が1名のお客様からありました。現在、状況の確認を進めております。
5. 原 因 運転士が新千歳空港駅進入時にATSの取扱いに適切を欠き、ATSによる非常ブレーキが動作したためです。
6. そ の 他 ・当日、事象発生後すぐに運転士から指令に事象の報告を行っています。
・お客様のけがについて、当日は申告がありませんでした。

※ATS（Automatic Train Stop）＝自動列車停止装置

新千歳空港駅は行き止まりの構造となっているため、運転士に注意を促すためにホームの中央付近でATSのベルを鳴らす設備としています。運転士は、ベルが鳴ってから5秒以内にボタンを押してベルを解除しますが、5秒以内にボタンを押さなかった場合は、非常ブレーキが動作します。